

～ 【 バタフライエフェクト 】 ～

先日ふとテレビを見ていたら、NHKで「バタフライエフェクト」という番組が放送されていました。ほんの小さな出来事が、巡り巡って世界全体を変えてしまう、という内容のシリーズ番組です。歴史の勉強にもなります。

その日はかつてボクシングヘビー級世界チャンピオンのモハメド・アリが始めた反差別運動が、やがてアメリカが真の平等社会を目指して動くことへとつながったという内容でした。

今、ロシアがウクライナに「特別軍事作戦」と称し、侵攻しています。ご家庭ではこのニュースをどのように受け止められていますか。



地球の裏側の出来事だから関係ない、では済まされない問題です。

大切なことは地球の裏側で起こった出来事も、何らかの形で必ず自分たちの生活に影響を及ぼすことになる、ということです。バタフライエフェクトが必ず発生します。

なぜロシアはウクライナに「特別軍事作戦」と称して侵攻したのか。ロシアとウクライナの関係はどうなっているのか。プーチン大統領とはどんな歴史を持ち、どんな人物なのか。そして日本にはどんな影響があるのだろうか。今のままの平和な生活が永遠に続くのだろうか。いろいろな疑問を持ってニュースを見たり、本やネットで調べたり、親子で話し合ったりして自分なりの考えを持ってほしいと思います。

そしてドローンから放たれたミサイルが戦車を撃破するシーンを見て、「すごい！」で終わるのではなく、その瞬間、戦車の乗員4、5名の命が失われたのだと、思ってしまうと思います。私達は人の命が失われるまさにその瞬間をゲームの画面を見るような感触で見ているのです。考えてみればこれはとても危険なことなのです。

連休を利用してロシアやウクライナに関する本を2、3冊読みました。分かったことは国際政治とは何よりも国益を優先すること。そして「何よりも」には時には人命も含まれる、ということです。

だからこそ私達大人は子ども達に、人命の尊さ、命の重さ、人権の大切さを説き続けなければならないのです。私達が日々子ども達に送る一言一言が、バタフライエフェクトとなって世界に平和をもたらすのだと信じて。

～ 【 立場が人を変える 】 ～

日曜日の体育大会に向けて、練習にもいよいよ熱が入ってきました。早朝練習も始まり、子ども達も元気に参加していますが、同時にご家庭の朝のリズムも変わり、いつもより早く起きたり、朝食の準備を急いだりと、大変な思いをされていると思います。ご協力、本当にありがとうございます。

今朝、早朝練習の様子を見にグラウンドに行くと、この日は1、2年生の練習にもかかわらず、3年生の東君(黄団・団長)と石原君(赤団・副団長)が練習の様子を見ていました。「何しているの?」と尋ねたら、「1、2年生の様子を見て、いいところとそうでないところを見つけて、全体練習の時に指導しようと思いました。」と答えてくれました。

「経験は人を変える。」「環境は人を変える。」「立場が人を変える。」と言いますが、本当にそうだと思います。団をリードするという立場になって初めて見えてくることもたくさんあると思います。そうした経験をする中で、リーダーとしてはもちろん、人としても深みを持つてくるのだろうと思います。

団リーダーという一つの経験が、どのようなバタフライエフェクトとなって学年を変え、3年生がどのように鹿南中を変えていくのか、楽しみにしています。

～ 【 栄光を讃えて 】 ～

学校HPで既に紹介していますが、4月29日(金)、植木弓道場にて第23回熊本県中学生弓道選手権大会が開催されました。

団体戦で、本校2年生の村上朱璃さん、本田莉恵さん、清田莉花さんのチームが第3位。同じく個人戦で、清田莉花さんが第3位という成績を残しました。

3人は7月、日本武道館にて行われる全国大会に熊本県代表として出場します。

日本武道館と言えば、今から56年前の1966年にビートルズが日本公演を行った歴史的な場所です。

その場所で競技をすることができるなんて一生の記念になると思います。

ぜひ武道館でも鹿南中の風を吹かせて来てほしいと思います。健闘を祈っています。

本当におめでとうございます!

